

**福島復興本社における
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～**

○原子力損害賠償の進捗状況	1 ～ 2
○福島復興へ向けた取り組み実績	3
○復興推進に関する取り組み	4
○流通促進に関する取り組み	5 ～ 6

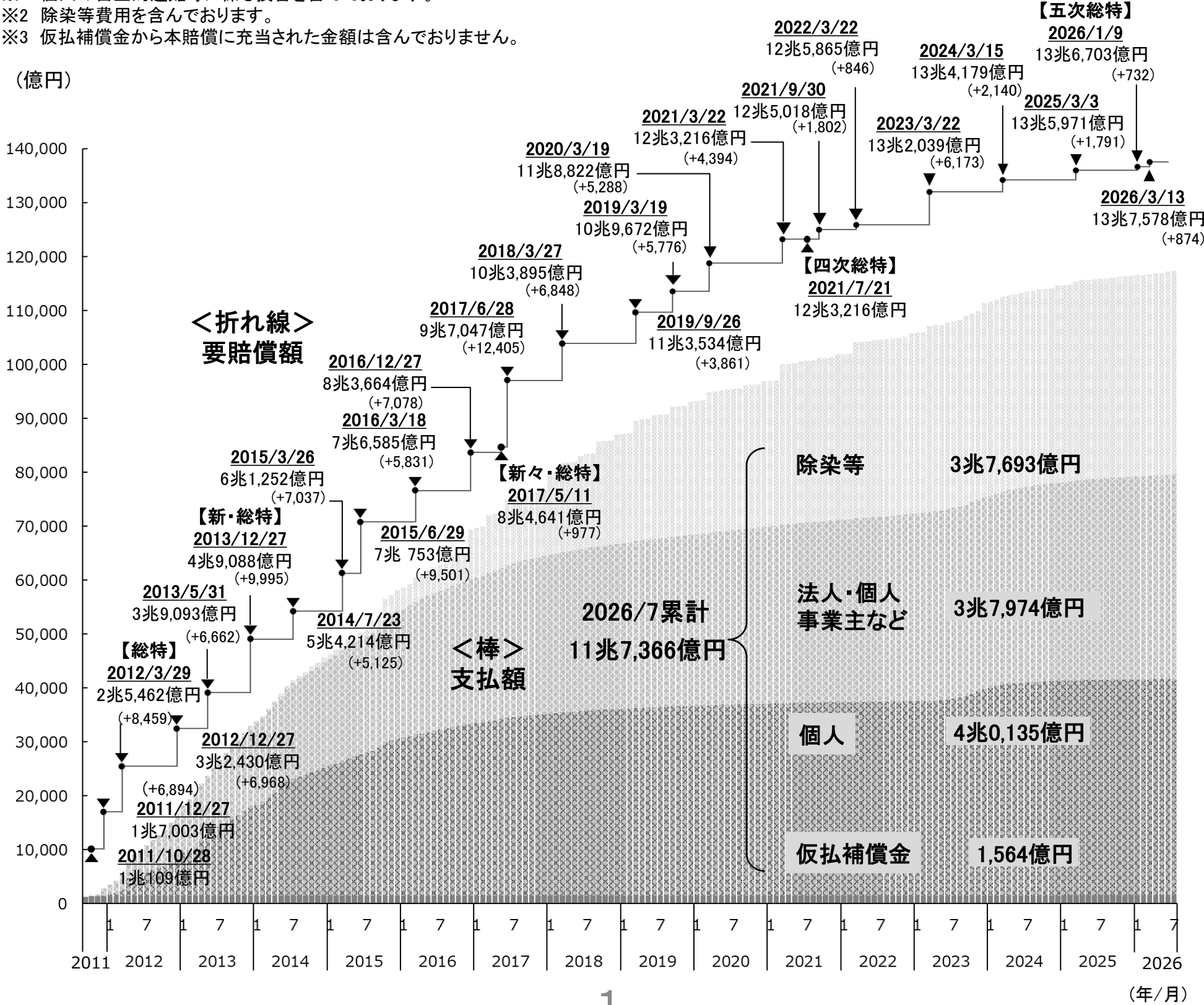
原子力損害賠償の進捗状況について

＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

2026年7月31日現在

	個人※1	法人・個人事業主など※2
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約3,370,000件	約592,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約3,144,000件	約504,000件
本賠償の金額※3	約4兆0,135億円	約7兆5,667億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額※3	約11兆5,802億円 ①	
仮払補償金	約1,564億円 ②	
お支払い総額	約11兆7,366億円 ①+②	

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。
※2 除染等費用を含んでおります。
※3 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (2026年3月13日資金援助額変更申請)	賠償合意実績※ (2026年7月末現在)
I. 個人の方に係る項目	24, 926億円	23, 893億円
検査費用等	3, 576億円	2, 951億円
精神的損害	13, 671億円	13, 446億円
自主的避難等	4, 912億円	4, 739億円
就労不能損害	2, 766億円	2, 756億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	36, 884億円	35, 302億円
営業損害	5, 635億円	5, 633億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	22, 290億円	21, 581億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3, 454億円	2, 680億円
間接損害等その他	5, 504億円	5, 406億円
III. 共通・その他	22, 744億円	20, 464億円
財物価値の喪失又は減少等	15, 652億円	15, 104億円
住居確保損害	6, 842億円	5, 110億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等※2	53, 022億円	37, 693億円
合計	137, 578億円	117, 354億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

【B／A 85％】

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難、帰宅、一時立入費用 ・生命、身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 、 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 、 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 、 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2022年		12月:ALPS処理水放出に伴い風評被害等が発生した場合の賠償
2023年	3月:中間指針第五次追補決定等を踏まえた精神的損害等に対する追加の賠償	
2024年	3月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	
2026年	3月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

		2026年7月31日現在
申立件数		32,426件
解決件数		31,686件
	全部和解件数	25,124件
	取下げ件数	3,768件
	打切り件数	2,792件
	却下・和解の仲介をしない	2件
現在進行中の件数		740件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは32,277件(7月31日現在)、月平均で約72件(2026年)

※現在進行中の件数のうち、13件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,674億円

出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

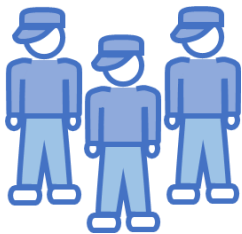
福島復興へ向けた取り組み①

福島復興へ向けた取り組み実績

■ 2026年7月までの累計実績

■ 2026年度の実績（7月）

環境再生・復興推進活動



活動人数
1,249,477人
(前月比+3,772人)

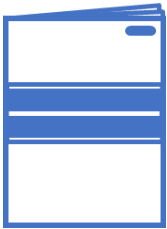
復興本社設立（2013年1月）からの累計

環境再生・復興推進活動



対応件数
1,303件
(前月比+290件)

原子力損害賠償



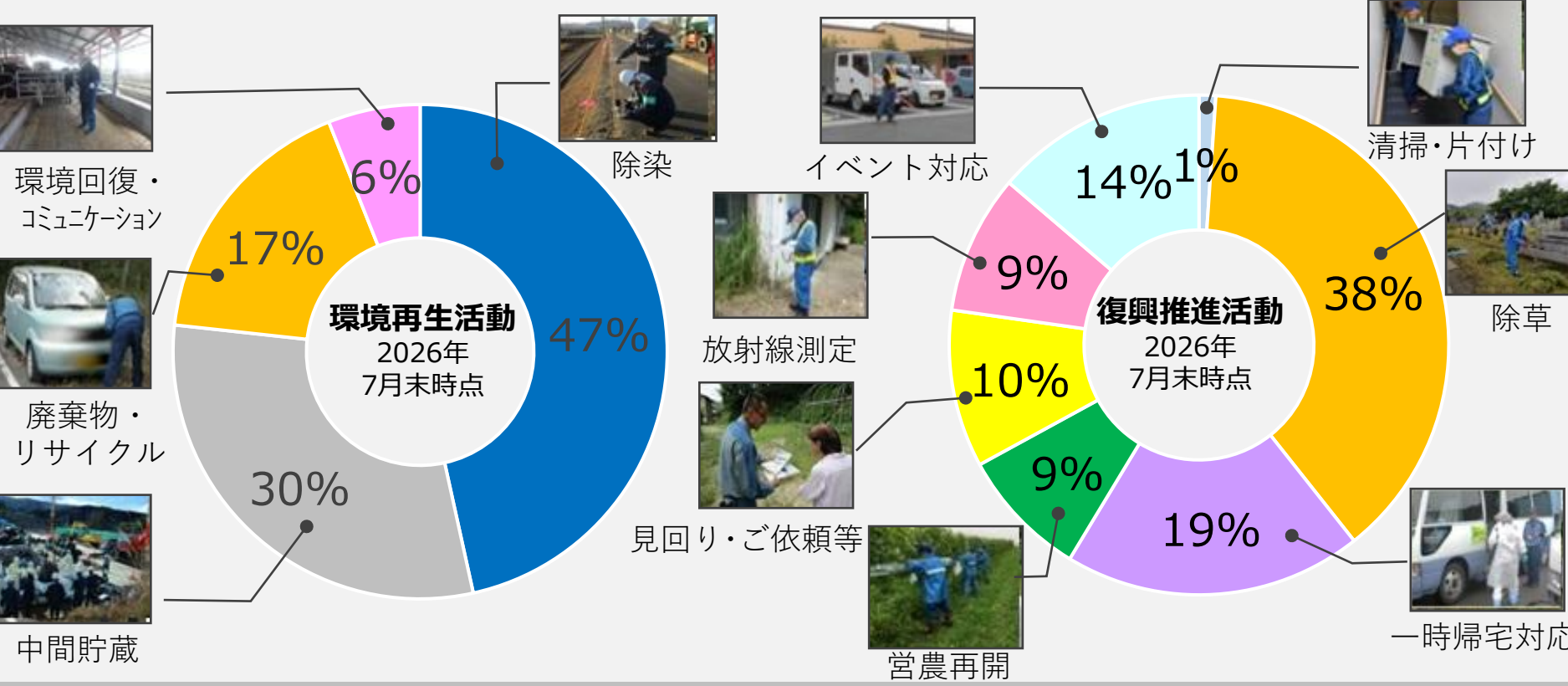
賠償お支払総額
約 11兆7,366億円
(前月比+104億円)

流通促進活動



イベント開催数
147回
(前月比+45回)
出店店舗数
595店舗
(前月比+187店舗)

■ 環境再生・復興推進活動の業務別割合（2026年度）



■ 9～10月の主な活動予定

【凡例】【環】・・・環境再生活動 【復】・・・復興推進活動 【流】・・・流通促進活動 【他】・・・その他

【復】第9回とみおか復興ロードレース大会（富岡町） 9月13日(日)
第11回川内の郷かえるマラソン（川内村） 9月20日(日)
第60回双葉町町民体育祭（双葉町） 9月26日(土)

【流】福島県
①いちいグループ8店舗 9月15日(火)～ 9月20日(日)
②手ぶらでBBQ in四季の里 9月26日(土)～ 9月28日(月)
③スーパーマートいわき市内24店舗 9月28日(月)～ 9月29日(火)
④道の駅ふくしまイベント 10月 3日(土)～10月 4日(日)
⑤手ぶらでBBQ in四季の里 10月 3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)
⑥福島市内グルメフェア 10月 9日(金)～10月25日(日)

【流】福島県
⑦LIVE AZUMA2026（ブース出店） 10月17日(土)～10月18日(日)
⑧わくわく市場まつり（福島市公設地方卸売市場） 10月25日(土)
【流】首都圏
⑨FUKUSHIMA SAKE GROOVE（高輪ゲートウェイ） 10月 3日(土)～10月 4日(日)
⑩ニッポン放送ラジオパークin日比谷2026 10月 3日(土)～10月 4日(日)
⑪全国ふるさとフェア（横浜赤レンガ倉庫） 10月31日(土)～11月 3日(火)



キッチンカーの出店予定は
こちらから→



福島復興へ向けた取り組み②

復興推進の取り組み

除草作業

活動内容

- ・ 住民の皆さまが安全にご帰還・お墓参りできるように、墓地や帰還困難区域内におけるご自宅進入路等の除草作業を行っております。
- ・ 福島県外の社員も除草作業等に取り組むとともに、発電所周辺地域を視察することで、改めて福島の現状や教訓を学び、住民の皆さまの思いに触れる機会としています。



今後の活動予定

期 間	活 動・イベント名（地 域）	活 動 内 容
9月13日（日）	第9回とみおか復興ロードレース大会	コース警備
9月20日（日）	第11回川内の郷かえるマラソン	事前準備・駐車場誘導
9月26日（土）	第60回双葉町町民体育祭	駐車場誘導・会場設営・準備・撤収



2025年10月とみおか復興ロードレース大会

生産から販売までの関係事業者が連携した「GAP」推進の取り組み

GAP認証農産物の販売会
東急線沿線「九州屋」4店舗に拡大しPR

GAP専用売り場の長期設置は九州屋で初の試み

日程 9月5日(土)～11月29日(日)
場所

GAP専用売り場 設置店舗	試食販売予定日※	
九州屋 東急二子玉川店	第1、第3	土、日
九州屋 東急青葉台店	第2、第4	土、日
九州屋 東急たまプラーザ店	第2、第4	土、日
九州屋 東急日吉店	第1、第3	土、日

特 色 ※ 試食販売の日程は変更になる可能性があります

- 店舗数・売上高・従業員数において青果専門店業界最大手「九州屋」の東急沿線4店舗で、福島県産を中心とした旬のGAP認証農産物のリレー販売を実施します。
- 前回好評により4店舗に拡大。さらに、前は3日間の開催でしたが、今回は約3か月間にわたり設置します。
- 人にも環境にも優しい持続可能な農業を、試食販売等を通じてPRすることで、GAP認証農産物の価値に対する理解促進を図り、販路拡大につながるよう取り組みます。

福島県内のGAP認証状況(2026年3月末時点)
認証農場数 787件 認証品目 90品目
※2026年3月時点 JAグループ福島/JA福島中央会
(GGAP、ASIAGAP、JGAP、FGAPの合計)



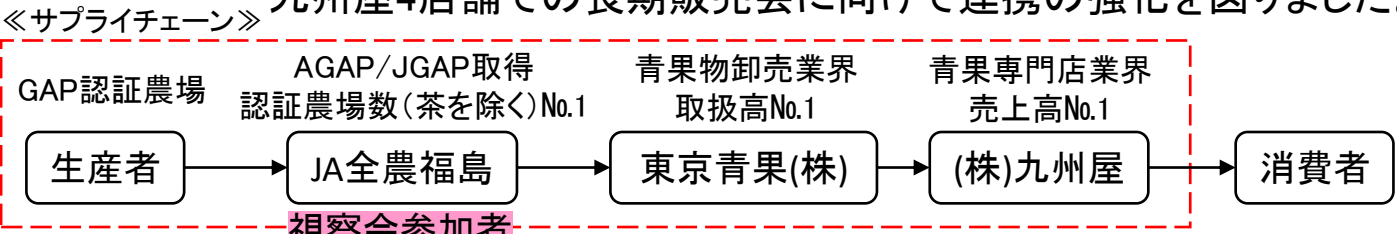
九州屋 東急二子玉川店
GAP専用売り場(2026年7月)

＜販売会開催にあたり＞
産地視察では、農場が整理整頓され、GAPの基準に沿って適切に管理されている様子を実際に確認しました。
また、生産者との意見交換を通じて、安全・安心な農産物づくりに真摯に取り組む姿勢や思いについて、理解を深めることができました。
販売会を通して、その価値や生産者のこだわりをお客さまに伝える機会を増やすことが重要だと考えています。
今回の販売会を通じて、まずはGAPそのものを知っていただき、実際に商品を手に取り、品質や美味しさを実感していただきたいと思います。
(株)九州屋 執行役員 商品部 担当部長 小泉奏祐さま

GAP認証農産物の視察会

全国トップクラスのバイヤーによる視察会

日程 8月25日(火)
特 色 生産者・JA・市場関係者・小売事業者が一堂に会して視察会を実施し、九州屋4店舗での長期販売会に向けて連携の強化を図りました。



場 所

視察箇所	
福島市	JAふくしま未来 本店
伊達市	JAふくしま未来 キュウリ農園
郡山市	菌床しいたけイノベーションセンター
郡山市	郡山パッケージステーション

＜生産者の思い＞
GAP認証農産物の生産は大変なことも多いですが、この取り組みを少しでも評価していただき、需要拡大に繋がってほしいと思います。
JAふくしま未来 伊達地区 きゅうり生産部会保原支部 支部長 菅野哲也さま



菌床しいたけイノベーションセンター
安全衛生管理の様子

整理整頓状況

＜ 作業者の衛生管理・作業前チェック表 ＞

衛生管理・健康チェック

- ① せきをしている方はマスクをしましょう
- ② 下痢の方は休みましょう
- ③ 手にケガをしている方は手袋を着用しましょう
体調がすぐれない方は責任者に申し出ましょう

作業前チェック

- ① 作業時の服装チェック表に従い、服装を整えよう

作業者の衛生管理・作業前チェック表

福島復興へ向けた取り組み③

横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ レストラン 鉄板焼「さがみ」で福島牛「福粕花」を採用。フェア初開催

日 程

10月1日(木)～10月31日(土) ランチタイム 平日 12:00～16:00
土日祝 11:30～16:00
ディナータイム 17:30～22:00

場 所

神奈川県横浜市西区北幸1丁目3-23
横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 28F 鉄板焼「さがみ」

特 色

- ・日本全国から厳選した和牛を提供する鉄板焼「さがみ」で、10月の「日本名牛の旅」に福島牛「福粕花」が採用され、ランチ・ディナーで提供されます。
- ・「日本名牛の旅」は各地の選りすぐりの名牛を堪能できるフェアで、8月の米沢牛、9月の松阪牛に続き、今回初めて福島牛「福粕花」が採用されました。また、コースには、常磐ものの平目や鰹、ブランド米「福、笑い」、福島県産梨、さらに日本酒やワインの提供も予定されています。



鉄板焼「さがみ」 HP
(横浜ベイシェラトン
ホテル&タワーズ)

福島牛「福粕花」採用について

東京電力様からの紹介をきっかけに福島牛「福粕花」を知り、実際に試食したところ、華やかな香りと豊かで上品なうま味や口の中に広がる奥深い味わいに大きな魅力を感じ、採用を決めました。鉄板焼「さがみ」では、福島牛「福粕花」を中心に、福島県産の魚介や米、果物、日本酒などを取り入れたコースをご用意します。今回のフェアを通じて、誕生したばかりの新しい銘柄牛「福粕花」の魅力を多くの方に知っていただき、その発展のお手伝いができればと思っています。

鉄板焼 徳留 雅 統括料理長



ホテル最上階からの夜景が美しい鉄板焼「さがみ」。肉本来の味を最大限に引き出す鉄板焼を通じて、日本各地の選りすぐりの名牛をご堪能いただけます。

ランチ



日本名牛の旅

極上“福島牛「福粕花」”フェア

日本酒の銘醸地である福島の滋養ある酒粕で育てた「福粕花（ふくはっか）」。やわらかな肉質と華やかな甘い香りをご堪能いただけます。

料金

- ・極上“福島牛「福粕花」”ランチ ¥17,000(税サ込)
- ・伊勢海老・鮑・“福島牛「福粕花」”ランチ ¥28,000(税サ込)

ディナー



日本名牛の旅

極上“福島牛「福粕花」”フェアコース

酒粕で育った福島県産A5等級の“福島牛「福粕花（ふくはっか）」”と、「常磐もの」として知られる平目など、福島県の魅力あふれる食材をご賞味ください。

料金

¥27,500(税サ込)

福島の恵みを ふんだんに使用

廣木酒造本店
飛露喜

常磐もの
平目

ブランド米
福、笑い

梨

ブランド米
福、笑い

梨

ほかにも、福島の山の幸、海の幸を活かした旬の食材を厳選してご用意しております。

画像提供：横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ

※写真はイメージです

福島牛「福粕花」とは

日本を代表する酒どころ、福島の滋養ある酒粕を食べて育ったプレミアムブランド和牛。やわらかく上質な肉質と華やかな甘い香りが特徴。肉質等級は最高ランクの5等級。品質や価値を守るため、協議会が認定した特定の生産者のみが生産・出荷。